別紙4

施設の点検、補修及び修繕の実施状況

部局名等	点検日	内容
医学系研究科放射性同位元素使用施設	令和7年7月25、28、29日 令和8年1月21～31日	壁にひび割れあり →シーリング材にて充填補修済。 天井と壁に隙間が生じた。 →シーリング材にて充填補修済。 壁にキズ、塗装のはがれ及びヘアクラックあり →シーリング材にて充填補修後、ビニル塗装済。 巾木の浮きが発生した。 →シーリング材で補修済。
医学系研究科保健学専攻放射性同位元素等使用施設	令和7年9月1日～9月30日 令和8年3月1日～3月31日	令和8年3月給気ファン修理
医学部附属病院放射性同位元素等診療施設	2025/6/12～6/30 2025/12/15～2026/1/15	異常なし
歯学部附属病院放射性同位元素等診療施設	令和7年9月24日、令和8年3月17日	異常なし
工学研究科放射性同位元素等使用施設	令和7年7月7日～7月19日、 令和8年1月6日～1月17日	標識が退色していたため、塗装し直した。
生命機能研究科放射性同位元素等使用施設	令和7年9月22日～9月26日 令和8年3月2日～3月19日	・R7.3.3に、放射線中央監視装置にHVエラー表示が出たため確認したところ、排気中のベータ線を測定するためのベータ線ガスモニタが作動しないことが分かった。 →R7.3.7に、アロカに故障の原因について調査を行ってもらったところ、測定器本体の制御基板の損傷があることが分かった。すでに部品供給が停止しているため、修理不可であることが分かった。R7.3.13に更新の見積もりを行ったところ、638万円の費用がかかることが分かり、現在保留中。排気のRI数量は計算による算定で管理を行っている。 ・貯留水の放射線量を測定するためのβ線、γ線の水モニタが作動しない。→R5.4.19に、故障の原因について調査を依頼したところ、放射線量測定器へサンプルを送る電磁弁の故障が判明した。修理の見積もりをお願いしたところ、システムの更新を含めて修理費用が、25,927,000円となることが分かり、現時点での修理は保留とした。現在、排水時の放射線量の測定は、RI使用量をもとに計算により算出する方法で運用している。
微生物病研究所放射性同位元素実験室	令和7年7月7日～7月11日 令和8年1月5日～1月9日	異常なし

蛋白質研究所放射性同位元素実験室	令和7年8月18日～8月22日 令和8年2月9日～2月14日	RI施設点検(異常なし) RI施設点検(異常なし)
レーザー科学研究所放射性同位元素等使用施設	令和7年4月1日～4月10日 令和7年10月1日～10月10日	異常なし
附属ラジオアイソトープ総合センター(吹田本館)放射性同位元素等使用施設	【附属ラジオアイソトープ総合センター（吹田本館）放射線施設分】 令和7年7月1日～7月2日令和8年1月6日～1月7日 【医学科放射線施設分】 令和7年7月25、28、29日令和8年1月21～31日	【附属ラジオアイソトープ総合センター（吹田本館）放射線施設分】 異常なし 【医学科放射線施設分】 壁にひび割れあり →シーリング材にて充填補修済。 天井と壁に隙間が生じた。 →シーリング材にて充填補修済。 壁にキズ、塗装のはがれ及びヘアクラックあり →シーリング材にて充填補修後、ビニル塗装済。 巾木の浮きが発生した。 →シーリング材で補修済。